

入院患者の移動なしで運営しながら耐震補強

既存部分との接合に鋼管を使用した補強

全景写真



工事前



工夫した点

- 建物を使いながら施工
- 騒音^{じん}粉塵の低減
- 室内環境維持



建築物の名称	O病院
建築物の所在地	宮城県大崎市
敷地面積	14,511㎡
建築面積／延べ面積	—／8,950㎡
構造／階数	鉄筋コンクリート造／地上7階
主用途	病院
設計期間	—
施工期間	210日間
工事費(概算)	247,000千円

建物管理者のコメント 東北地方太平洋沖地震で、当病院は「震度6強」の揺れに襲われました。この猛烈な揺れのため、給排水系統の損傷による水漏れ、壁面の剥離、床面への亀裂などが多数発生しましたが、幸い建物が倒壊することはなく、人的被害も皆無でした。

もし、耐震補強工事を実施していなかったなら、どんな惨状になっていたのか想像もできません。

施工者のコメント 病院は24時間・365日、静かな環境が求められます。特に、病院を運営しながらの耐震補強工事では、ドリル穴一つ開けるのでも細心の注意が要求され、従来は非常に難しい工事とされてきました。本工事では、「鋼管コッター工法」及び「高周波コアドリル工法」を用いて、病院内の居住環境の変化を最小限にしながら耐震補強工事ができるようにしました。工事期間中は平日昼間も作業したにもかかわらず、入院患者の移動や診療時間の短縮・中止を実施することはありませんでした。

戸田建設株式会社
☎ 03-3535-1663

軽量のプレキャスト製品を使用し、工期の短縮ができる耐震補強 光環境の悪化が少ないパラレルユニットフレーム構法



設計者のコメント T病院は2階に渡り廊下が通っており、居ながらで耐震補強を施すには工事スペース上厳しい条件下であった。しかし、パラレルユニット構法は、狭小地においての施工が可能であり、また、プレキャスト部材を使用した工事なので短工期で、騒音、粉塵^{じん}の発生が少なく、この物件(T病院)の耐震改修に合った工法であった。

工夫した点

- 建物を使いながら施工
- きょうあい敷地
- 騒音粉塵^{じん}の低減



建築物の名称	T病院
建築物の所在地	鳥取県米子市
敷地面積	—
建築面積／延べ面積	—／5,447.5㎡
構造／階数	鉄筋コンクリート造／地上5階
主用途	病院
設計期間	45日間
施工期間	90日間
工事費(概算)	50,000千円